

令和 6 年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	海田町立海田南小学校	校 長	石川 和明	生徒指導主事	山本 達二
取組事例名	『あいさつ日本一をめざそう！』				

1 取組の設定	
取組を実施する意図及びねらい	取組を通して育てたい児童生徒像
(取組を実施する意図) 学校生活の充実と向上を図るための諸課題解決に向けて、児童自らが課題を発見し、解決していく主体的な態度の育成。 (ねらい) 「心の元気委員会」を中心に全校児童が参加できる挨拶の取組を実施することを通して、進んで挨拶できる児童を増やす。	【 学校教育目標 = M ・ K ・ M 】 M (学ぶ) …進んで学ぶ子 ・ 課題発見・解決力・主体性 K (気づかう) …気づかいをする子 ・ 協調性・柔軟性 M (認め合う) …認め合う子 ・ 共感力・アイデンティティ



2 展開	
取組の具体的内容	取組の創意工夫
1 本校の挨拶の課題について、児童会「心の元気委員会」で協議。児童自ら課題を把握 ・ 「自分から先に挨拶できないこと」 ・ 「交通ボランティアさんに挨拶できないこと」 2 課題を解決するための協議→実践 ①あいさつグランドチャンピオン表彰 (各学期 1 回実施) (表彰基準) 6 月「教職員より先にあいさつできる」 10 月「交通安全ボランティア、教職員より先に挨拶できる」 1 月「交通安全ボランティア、地域の人、来校者、教職員より先に挨拶できる」 ※教職員、交通ボランティア等が表彰児童を推薦 ②「あいさつ広げ隊」の結成 (11 月) ・ 1 年生から 6 年生までの希望者による任意組織 (仕事内容) ①最初に挨拶をして周囲が挨拶をするきっかけになる。 ②朝の挨拶運動に参加する。 ③海田南小学校の挨拶を良くする会議に参加する。	児童にめあてをもたせるために ・ 心の元気委員が校内放送やポスターを通して挨拶の意義を伝え、啓発をする。 児童の意欲を高めるために ・ 教職員との挨拶競争 ・ 交通安全ボランティアとの挨拶競争 ・ 委員会による朝のあいさつ運動 ・ 「あいさつ広げ隊」の結成 ・ 来校者との挨拶競争 ・ 「心の元気委員会」や「あいさつ広げ隊」による朝の挨拶運動 児童の頑張りを認め、価値付けるために ・ 挨拶グランドチャンピオン及び挨拶チャンピオンの表彰 (全校朝会) ・ 「あいさつ広げ隊」加入の認定



3 成果と課題
○成果 ・ 児童アンケートによる肯定的評価が高まった。 (友達・先生・交通ボ・来客への挨拶平均) 昨年度最終 85% → 今年度最終 95% 10P アップ (交通安全ボランティアへの挨拶) 昨年度最終 82% → 今年度最終 91% 9P アップ ・ 「あいさつ広げ隊」の結成により、低学年から主体的に学校の課題を解決していく経験を積ませることができた。 ○課題 ・ 教師が主導する場面が多々あった。 (来年度以降、今年度の経験をもとに児童が主体的に課題解決していく礎は築くことができたと思う。)